新スタッフ紹介

鄙の料亭 地御前に２名、すし辰緑井本店に１名の新しいスタッフが加わりました。ご紹介します。

4月入社

桒田（くわた） 知佳（ちか）さん 趣味は読書、好きな食べ物は揚げ出汁豆腐(絹)です。2年間、プリンスホテルの『なだ万』で修業しました。将来は、自分のお店を出すのが夢です。体を壊さない様に気を付けながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

5月入社

鈴木（すずき） 渉（わたる）さん 湯田温泉の老舗旅館「梅の や」で10年間、修業しました。生粋の長州人です。日々勉強、日々精進をモットーに、鮮コーポレーションを盛り上げていけるように頑張ります。

8月入社

平野（ひらの） 孝紀（たかのり）さん 北海道出身の２９才です。最近、広島に引っ越してきました。早く仕事を覚えてお店に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。

すし辰 緑井本店

リレーメッセージ

鮮コーポレーションの経営理念で一番基本になっている言葉は【ＶＩＶＩＤ：活き活き】です。『わたしのＶＩＶＩＤ』というテーマのメッセージをリレー形式で掲載します。今回は、中井副店長の登場です。

「わたしのＶＩＶＩＤ」

すし辰可部店 副店長 中井 英斗

私がアルバイトとして『すし家族吉田店』に入社して、10年以上が経ちました。接客はしたことがありましたが、飲食店は初めてで、入社した理由もその当時、よく遊んでいた友達の紹介でした。面接し、翌日には現場に入ってくれと言われ、12月の半ば、店が一番忙しくなる年末、私は年末年始・お盆がこの会社のとても忙しいとは僅かにも知らず、働かせて頂きました。

働いて半年たった頃、レーンセットをさせて頂くようになりました。家で全く包丁を使うことがない私が、レモンや柚子を切る際によく言われたことが、「包丁は押すか引くかで切れるけんね。あまり、ぎこぎこせんのよ」です。「切れればいいじゃんか」って思っていましたが、その後、包丁を研ぐ様になり、何故そんなことをその時言われたか分かり、時間をかけて理解をすることができました。その後、知らない事・できない事を、その当時の社員の方に教わりながらやっていくわけですが、０から始めたので、毎日が勉強となりました。魚もマグロやサーモン位しか知らないし魚は得意ではなかったのですが、実際に食べてみる事で、こんなに美味しい食べ物があったのかと発見が楽しくなり、今では少しは説明ができる様になりました。

仕事をする中で、良い事ばかりではありません。当然叱られることもあり、落ち込んでしまうこともありました。その時、支えになったのが、お客様の笑顔とスタッフの存在でした。レーンにいればお客様の顔で、嬉しそうなのか退屈そうなのか分かります。ご注文の商品を渡しただけなのに、「美味しい」「ありがとう」をダイレクトに言って下さり、「よし、頑張ろう」と素直に思えたし、この仕事をして幸せだと感じました。その次にスタッフです。出来ない、分かってないから怒って下さったり、私の話を真剣に聞いて下さったり、じゃあどうしたらいいのか考えてくれたり、仕事を辞めたくなった時も何回も止めて下さった上司のおかげで、今日も笑顔でお寿司を握れています。本当に感謝の気持ちで一杯です。

そして次に嬉しかったこととして、人に認めてもらえたこと。一番は常務の知り合いの方が直接常務に電話をされ、自分のしたことを見て下さりすぐ評価して頂いたのは忘れることができない、私の中のいい思い出です。

出会いの中で私が大切にしているのが、笑顔です。プライスレスだからこその価値があり、出来るだけ自分発信でやっていきたいと思っています。しかし、まだまだ未熟でお客様から笑顔を頂いていることが多いですが、お客様、スタッフに笑顔で接することが出来るよう、日々新鮮な気持ちで素直に行動することと、それを現場のスタッフに伝えていく。数ある職場の中から『すし辰可部店』を選んでくれたのだから、出来るだけその子の為になるよう厳しく言うときもありますが、ちゃんと一人ずつ話をして、私が一番最初、何も知らない所から初めて辛抱強く教えて頂いた上司のように、私も育てていければと思います。うまく伝わるとき、伝わらない事もありますが、自分の成長の為にも伝えていこうと思っています。

To be continued

最後のボートレース

過去には、社長を始め専務も手造りのボートで出場された、『庄原よいとこ祭りボートレース』近年は出場こそしていませんが、毎年協賛させていただき、豪華賞品で会を盛り上げるお手伝いをしています。そのボートレースが、今回最終回を迎え、その様子を紹介します。

大会前日に折り込まれた西田鮮魚店のチラシの裏には、告知と一緒に、祐宗チーフマネージャーのコメントと１９８６年の『ボートレース』に参加した西田鮮魚店の当時の写真が掲載されました。【すぐ浸水が始まってしまった船(笑)のようです】

様々に趣向を凝らした手造りの船が出廷、お決まりの沈没や浸水etc、大いに賑わいました！

鮮コーポレーションからは清水室長が審査員で参加し各レースの賞として西田鮮魚店の豪華賞品引換券を授与しました。→

voice お客様の声

社長へのハガキから 7月末から8月到着分

●すし鮮 三原学園通り店

久しぶりに行きました。ライバル店とはやはり違うなぁと思いました。落ち着きます。美味でした。大谷さんの笑顔も最高でした。お誕生日の祝い寿司のイベントの時しか行かないようになっているこの頃ですが、来店の貴重なイベントになってます。継続して下さい。オーダーしたビールは、できるだけ早く出して欲しいと思います。『乾杯』しないと食べ始められない家族なので！

【40代女性 三原市内からご来店】

Ⓐ当店に対してのお褒めの言葉の数々、心より感謝申し上げます。また、このようにお客様からの期待があるのだと思うと、日々の営業に対して身が引きしまる思いです。誕生日などの特別な日、イベントのある晴れの日にご利用して頂けること、心より感謝しております。最後にありましたが、生ビールの件ですが、誠にその通りです。先ずはビールで乾杯、とても大切な瞬間であると思います。少しでも楽しいひと時が過ごせるように、我々も全力で提供させて頂きます。

【店長 栗原】

●すし辰 緑井本店

『あらだき』がすごくお気に入りで、お持ち帰り用にパックをいただこうと思ったら、とてもきれいにパッケージして下さったのが、すごくうれしかったです。何の骨か分からないけど、唐揚げになってるのも、すごくおいしかったです。ネームプレート!?とかあればもっと手を出しやすいのになと思います。

【30代女性 広島市内からご来店】

Ⓐ『あら炊き』は、当店の人気メニューの一つであり、いろいろな魚が入っていることが、美味しく作れる理由の一つでもあります。お持ち帰りの際は、汁がこぼれないように二重にラップをする様に徹底していますので、ご家庭でも美味しい『あら炊き』をお楽しみください。またスポットで色々な創作商品を提供していますので「美味しい！」と思ったものがあれば、是非お声をかけて下さい。今後とも【すし辰】をよろしくお願い申し上げます。

【店長 難波】

●すし辰 三次店

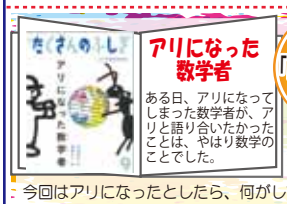
●小あじの姿にぎりがとてもおいしかったです。特に後から残りの骨を唐揚げにしてくれたものが、とてもおいしかったです。店員さんもお店もよくて、久々に行ったけど、やはりすし辰いいなーと思いました。

【30代女性 三次市内からご来店】

Ⓐ大変嬉しいお言葉を頂戴し、スタッフ一同心より感謝を申し上げると共に、今後もお客様に対して喜んでいただける様に、サービスカを上げていくことを徹底して参ります。商品に対して、これからも高い評価を頂けることを目指し、新鮮でそして安心してお食事ができるお店としてお迎えできる様に努力して参ります。

【店長 伊達】

9月の「図書コーナー」の感想より



アリになった数学者

ある日、アリになってしまった数学者が、アリと語り合いたかったことは、やはり数学のことでした。

今回はアリになったとしたら、何がしてみたいかを書いてもらいました。

●大きいケーキやアイスを好きなだけ食べてみたい。

【5才男の子三次店ご来店】

●カルビ屋大福 呉店

◆注文してから届くのが少し遅いなと感じました。ですが、スタッフの対応や言葉遣いはとても良かったです。商品もすごく美味しかったです。

【20代男性 呉市内からご来店】

Ⓐ商品提供が遅くなり申し訳ございません。また、スタッフの対応、言葉遣いへのお褒めの言葉、大変嬉しく感じます。スタッフ一同、励みになり、より一層の接客向上を目標に精進できます。商品も「美味しい」との一言が本当に喜びで一杯です。この9月から秋限定季節メニューの販売を始めます。今年の秋を大福でも味わってください。是非ご来店くださいませ。

【店長 安田】

●カルビ屋大福 西条店

◆肉がとてもおいしいです。ご飯が特にサイコー!!これ大事。ありがとうございます。

【40代女性 三原市内からご来店】

Ⓐお肉が美味しかったという事で嬉しく思っております。また、肉の次にご飯にも力を入れております。寒暖差のある所で育てた庄原米を使っており、炊き方も時間を管理しながら美味しいご飯を食べていただきたいという想いで頑張っています。また機会がございましたら是非、食事をしに大福に来てください。

【店長 石田】

すし辰三次店の玄関ディスプレイにお客様からたくさんの感想をいただきましたので紹介します。

夏祭りのディスプレイ、かわいかった！子どもたちも喜んでたし、大人もワクワクするなぁと思う。はじめてこんなにディスプレイにこだわってるお寿司屋さんをみました！

待ち時間に子どもの暇つぶしになって良かった。スーパーボール大好きなので喜んでいました。

下に射的の銃があるのが面白い。祭りの提灯と祭りの手ぬぐいで屋台の感じがUP↗。景品もかわいくて、手に取りたくなります。

■編集後記■庄原の夏の風物詩、上野池のボートレースが今回一旦幕を閉じました。過去にも一旦中断して復活した経緯もあり、年々出場する手造りボートも減ってきているとか。何年か続けて、池の上の彼の上で審査員として楽しませていただきましたが、本当に寂しい限りです。損得なしに夢中になって大騒ぎする様なイベントが減りつつある昨今です。